

# ＜平成 29 年度 多文化共生フォーラム＞ 災害時における外国人への対応について

在留外国人者数が過去最高の 240 万人（H29.6 末）を突破するとともに、訪日外国人観光客数も過去最高の 2,400 万人（H28）超を記録するなど、日本全国で外国人滞在者が急増しています。

北海道においても、在留外国人や外国人観光客が増加しており、これに伴い災害時に外国人にどのように対応するべきかが重要な課題となっております。

このため、この課題への理解を深め、北海道全体が外国人にも安心して滞在しやすい地域となるよう、多文化共生社会の推進に向けたフォーラムを開催します。

日時

12 月 8 日（金）13:30 ~ 17:00

参加  
無料

会場

かでの2・7 1040 会議室  
〔札幌市中央区北2条西7丁目〕

定員 60 名（先着）

## 【プログラム】

### ● 基調講演：「災害時における外国人への対応について」

＜講師＞ 田村 太郎 氏〔復興庁復興推進参与、（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事〕

#### 【講師略歴】

阪神大震災直後に外国人被災者へ情報提供活動を機に「多文化共生センター」事務局長に就任。その後、代表理事。

2011 年 3 月の東日本大震災を受け、内閣官房に発足した「震災ボランティア連携室」では企画官に就任。被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案に携わった。現在は復興庁復興推進参与を兼任。

### ● 事例紹介：

- ① 北海道（総務部危機対策局）
- ② 札幌市（総務局）
- ③ （公財）札幌国際プラザ
- ④ （公社）北海道国際交流・協力総合センター



（熊本地震で行政等の情報を多言語化発信する支援センター）

## 【申込先】（公社）北海道国際交流・協力総合センター

TEL : 011-221-7840

Email : [exch@hiecc.or.jp](mailto:exch@hiecc.or.jp) FAX : 011-221-7845

＜主催＞（公社）北海道国際交流・協力総合センター

＜共催＞北海道

＜かでの2・7へのアクセス＞

- ・ JR 札幌駅南口：徒歩 13 分
- ・ 地下鉄 さっぽろ駅（10 番出口）：徒歩 9 分
- ・ 大通駅（2 番出口）：徒歩 11 分

